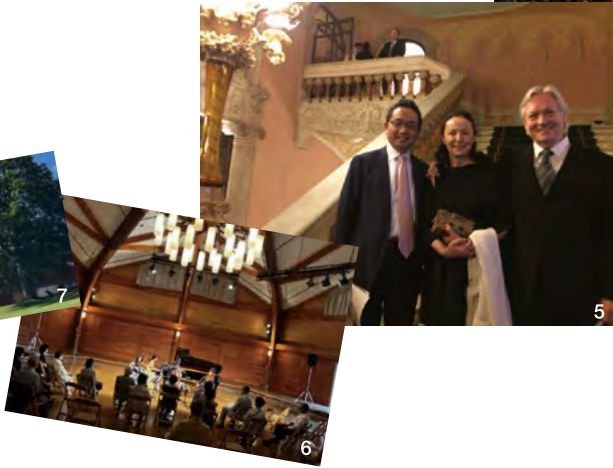




Music

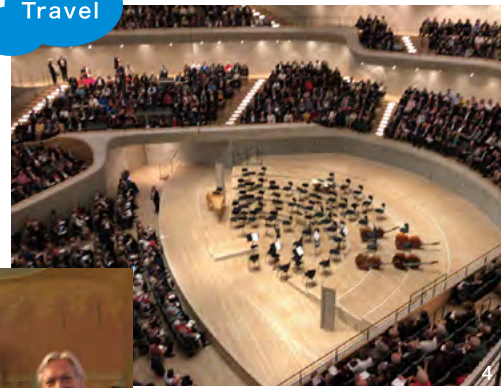
イタリアでも活躍している笛田さん。



笛田博昭 ふえだひろあき

声楽家。名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯受賞。第9回マダム・パタフライ世界コンクール及び第50回日伊声楽コンクール第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位、その際にフェッラーラ歌劇場にて『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ役でイタリアデビューを果たす。

Travel



1. 笛田さんがイタリアデビューしたフェッラーラ歌劇場。2. 3. 数々のコンクールで受賞し、イタリアでも実績のある笛田さん。4. ウィーン・フィルクルーズでのコンサートの様子。5. ウィーン・フィルクルーズに乗り船した柴崎さんとクルーズのオーガナイザー、シュプリング夫妻。6. 7. 奥志賀高原のツアーでは、小澤征爾さんがアドバイスして造られた森の音楽堂でのコンサートを鑑賞したり、参加者による合唱体験など音楽を楽しむことができる。

Travel, Music & Karuizawa

旅と音楽と軽井沢

圧倒的な声量となめらかな美声で、日本三大テノールの一人として世界的にも活躍している笛田博昭さん。今夏、大賀ホールでコンサートを企画しているグローバルユースビューローの柴崎聡社長。お二人を招いて、軽井沢とのお縁や音楽と旅をテーマにお話を伺いました。

Interview

■出席者

笛田博昭さん（声楽家）

柴崎聡さん（グローバルユースビューロー社長）

■聞き手・広川美愛（本誌編集長）

田舎だけど都会、不思議な軽井沢

広川美愛（以下、広川）：お二人が軽井沢に初めていらしたのはいつですか。

柴崎聡さん（以下、柴崎）：小学生の頃ですが、当時鬼押し出しの方に会員制のホテルがあり、そこに家族で何回か訪れた記憶があります。当時から旧軽井沢の商店街が賑わっているのが印象的でした。

笛田博昭さん（以下、笛田）：僕は今から15年ほど前に、大賀ホールで歌わせて頂いたのが最初です。越後湯沢の生まれで、軽井沢のような大自然の中で育ちましたが、軽井沢は自然の中の都会のような不思議な感じがしました。田舎だけど、都会の要素もあって、おしゃれな街という印象です。

柴崎：多分、軽井沢にいる人たちがそうだからだと思います。人も風景の一部ですから。東京との二拠点の方も多くなっていると思いますが、以前から町にいらつしやる方もファッショナブルで都会的。緑が多く、歴史のある別荘地としての魅力は他にない軽井沢の魅力だと思います。広川さんのインスタグラムなどを拝見し、軽井沢に住んでいる方は、美しい自然の中をお

散歩できて、いつも羨ましく思っています。

広川：そう言って頂けると嬉しいです。

パヴァロッティで雷に打たれる

広川：笛田さんと柴崎さんとのご縁はいつからですか。

柴崎：10年ぐらいでしょうか。

ある音楽家の方と食事したときに笛田さんの話題になって、本当にストイックだと伺っていました。他の若手の歌手は、練習や本番が終わると飲みに行くけど、彼は来ない。若手であそこまでストイックに自分をコントロールしてる人はいないって。実際にお会いして納得しましたね。

笛田：毎回ベストを尽くしたいという思いだけです。飲むことは楽しいけど、それをうまくいかなないことの言い訳にしたい。本当に命がけで舞台をやっているのかなという疑問が出てしまう。自分がストイックだとは思わないですが、芸術や音楽に対してのリスペクトだけは絶対に忘れちゃいけない。それによって僕は生かされているし、自分の生きている意味でもある。自分がどう評価されようが、それを忘れたら自分はもう芸術家じゃないなと思います。

うです。高校3年生になって、先生からコンクールを勧められて、出場したら高校生の部で1位になりました。発声は全部自己流ですが。

柴崎：すごいですね。やっぱり前世が音楽家だったんだね。

笛田：ピアノやバイオリンは、小さい頃からやらないと難しいですが、歌の場合は変声期もあるし、体が楽器だから、ある程度大人にならないと難しい部分があります。でも僕は譜面が読めなかった（笑）。今はもちろん譜面を見て、どうかはわかりませんが、初見でばつと歌ってくださいます。僕はその能力はないですね。音源でどういう音楽なのかを聞いて、それから音をとって、練習する。耳コピのような感じでしょか。

広川：すごいですよね。ここまですごく大活躍していらして、「譜面読めませんでした」って言うという謙虚さ。

笛田：図太さ（笑）。音大を受験しようと思いましたが、ピアノは弾けないから、面接と実技だけなので、名古屋芸術大学を受験しました。歌も自己流で入試で歌ったら、先生たちから拍手をすごく頂いて。そして無事合格しました。

柴崎：イタリアに留学されていますよね。